



コントロールセンタ関連製品

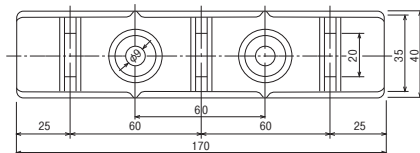
KJ-K形

特長

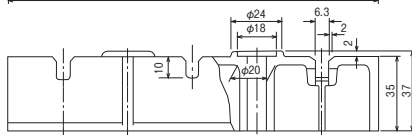
断路部をご使用いただくにあたっては、母線支持の絶縁物・母線キーバを用意しています。
母線キーバは制御操作盤の母線支持物として利用できます。
耐熱性にすぐれた高性能エンジニアリングプラスチック（変性PPE樹脂（G20%））を利用しています。
軽量で機械的強度にすぐれています。
アタッチメントのご利用により、t5の板厚の母線にも使用できます。

標準仕様品

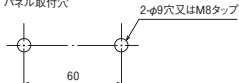
KJ-K606 (母線サイズ6mm)



KJ-K605 (母線サイズ5mm)



パネル取付穴



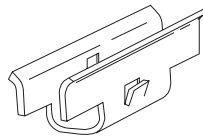
アタッチメント挿入図
[KJ-K605の場合
アタッチメント使用する]



アクセサリ

アタッチメント

KJ-K5アタッチメント:KJ-K605用



■短絡電流と適正支持スパンとの関係 (母線キーバ)

右図におけるA,B間の短絡電流による電磁反発(吸引)力が次の式で表わされ、この式の関係とキーバの持つ機械的強度との関係から安全かつ適正な支持スパン*l*を決定するなら下表のようになります。

$$f = \frac{2}{9.81} \times i^2 \times l / r k \times 10^{-7} \text{ kg}$$

i = 短絡電流の波高値

k = 形状、配置による定数0.8~1.0
(安全サイドで考えて*l*とする)

f = 破壊試験データと安全率より考え
800kgとする。

r = 60mm

短絡電流の実効値	適正なスパン <i>l</i> (以下)
50kA	150mm
40kA	230mm
30kA	420mm

(注) 上表は母線自体の強度を無視した値です。

